

5 英語
(1) 正答率

大問	問題番号	配点	通し番号	正答率 (%)	中間点取得率 (%)	学習指導要領の領域					観点		解答方式			正答率	中間点	不正答
						聞くこと	読むこと	話すこと〔やり取り〕	話すこと〔発表〕	書くこと	主として知識・技能をみる	主として思考・判断・表現をみる	多肢選択	記述(短答)	記述(説明)			
1	問1	NO.1	2	①	77.1	-	○				○		○					
		NO.2	2	②	83.7	-	○				○		○					
		NO.3	2	③	53.8	-	○					○	○					
	問2	NO.1	3	④	68.3	-	○				○		○					
		NO.2	3	⑤	83.9	-	○				○		○					
		NO.3	3	⑥	55.1	-	○				○		○					
		NO.4	3	⑦	21.0	-	○				○		○					
	問3	NO.1	3	⑧	53.7	-	○				○		○					
		NO.2	3	⑨	30.1	-	○					○	○					
		NO.3	3	⑩	43.8	-	○					○	○					
	問4	NO.1	2	⑪	8.2	5.4	○			○	○			○				
		NO.2	2	⑫	16.0	-	○			○		○		○				
NO.3		4	⑬	5.2	5.5	○			○		○		○					
2	問1	(1)	2	⑭	81.8	-				○	○		○					
		(2)	2	⑮	74.6	-				○	○		○					
	問2	(1)	2	⑯	38.5	-				○	○			○				
		(2)	2	⑰	18.8	-				○	○			○				
	問3	(1)	4	⑱	30.7	15.7	○			○		○			○			
(2)		4	⑲	36.3	13.5	○			○		○			○				
3【A】	問1	3	⑳	13.3	-	○					○	○						
	問2	3	㉑	55.5	-	○					○	○						
	問3	4	㉒	9.3	18.9	○			○		○			○				
3【B】	問1	3	㉓	48.9	-	○					○	○						
	問2	3	㉔	57.2	-	○					○	○						
	問3	4	㉕	18.2	9.6	○			○	○				○				
3【C】	問1	2	㉖	52.1	-	○				○		○						
	問2	2	㉗	66.7	-	○					○	○						
	問3	(1)①	2	㉘	16.9	-	○			○	○			○				
		(1)②	2	㉙	9.4	-	○			○	○			○				
		(2)	3	㉚	20.0	14.8				○	○				○			
問4	6	㉛	37.5	38.5	○					○	○							
4	(1)	3	㉜	7.5	14.8				○	○				○				
	(2)	3	㉝	14.7	9.8				○		○			○				
	(3)	6	㉞	2.1	31.6				○		○			○				

観点	主として知識・技能をみる	43.8
	主として思考・判断・表現をみる	32.6
解答方式	多肢選択	55.7
	短答	17.5
	説明	16.2
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	46.1
	(2) 読むこと	34.8
	(3) 話すこと〔やり取り〕	-
	(4) 話すこと〔発表〕	-
	(5) 書くこと	24.0

(2) 義務教育段階の傾向や課題

義務教育段階における学力調査等から、北海道の中学生には、文章の概要や要点を捉えることや、基本的な語や文法事項等を活用することに課題がみられる。

○傾向や課題を踏まえた特徴的な問題 【大問 1 問 4 No. 3】

正答率(5.2%)
中間点(5.5%)

(放送台本)

You're listening to "The English Radio Show!" It's Quiz Time! You'll answer with one English word after listening to some hints. I'll tell you how to join the game.

First, listen to the two hints. Next, visit our website and answer the quiz by eight p.m. today.

Ten winners will receive an English Radio Show notebook. Now, let's start the quiz!

Hint 1: The word starts with "A".

Hint 2: It's the fourth month of the year.

That's all! We'll wait for your answer!

Questions

No.1 What will the ten winners of the quiz get?

No.2 What's the answer to the quiz?

No.3 If you make one more hint for the quiz, what hint would you like to give?

(問題)

問 4 英文を聞き、No. 1～No. 3 の質問に対する答えとなるように、条件にしたがって、

に入る英語をそれぞれ書きなさい。**英文は 2 回読まれます。**

No. 1 Question : (放送で読まれます)

Answer : They will .

No. 2 Question : (放送で読まれます)

Answer : It's .

No. 3 Question : (放送で読まれます)

Answer : .

条件

- ・ No. 1 には、英文の内容から考えて、適当な英語を 3 語で書きなさい。
- ・ No. 2 には、英文の内容から考えて、適当な英語を 1 語で書きなさい。
- ・ No. 3 には、英文の内容から考えて、主語と動詞を含む英文 1 文で自由に書きなさい。

1 出題のねらい

[問題の内容]

この問題は、英文を聞き、内容を的確に理解した上で自分の考えを整理し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて適切に表現する力をみる、「聞くこと」と「書くこと」を統合させた問題である。

[解答までのプロセス]

- ① ラジオ放送を聞いて、その内容や意図を正しく理解する。
- ② ①の情報を基に、自分の考えを整理し、条件にしたがって適切に書く。

[関連する学習指導要領の領域と内容]

2 内容 [思考力、判断力、表現力等] (2)イ

日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること。

2 解答の状況と分析

この問題の正答率は 5.2%、中間点の取得率は 5.5%であった。指示を聞いて、概要や要点を捉えるだけでなく、聞いたことを基に基本的な語や文法事項を活用し、自分の考えを書くことが難しかったと考えられる。

(3) 今後の授業の在り方

○ 授業実践例

聞くこと、書くこと 【中学生 第3学年 外国語】

「災害に関する情報と行動予定をホストファミリーに伝えよう」
～ラジオ放送から得た情報などについて、ホストファミリーにチャットで伝えよう～

指導事項

(2)イ 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること。
〔思考力、判断力、表現力等〕

言語活動例

聞くこと(イ)店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。
書くこと(エ)社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。

学習過程		〔主な学習活動〕	〔指導上の留意点〕
第一次	目的・場面・状況の把握	<p>①活動の目標を理解する</p> <p>ラジオ放送から、災害についての現状や注意点などの情報を聞き取り、ホストファミリーに行動予定をチャットで伝えるという課題を把握し、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(ゴールイメージの例)</p> <p>We had a big earthquake few minutes ago. The news said that _____. I should _____, so I'll _____. Let's meet there at 3 pm.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ラジオ放送を聞く上での留意点や、チャットを送る相手や目的を明確にする。 ■ 全ての情報を聞き取るのではなく、自分の置かれた状況などから自分にとって必要な情報を判断して聞き取るよう促す。 ■ 最終的に伝える際のモデルを示すことにより、ゴールイメージを共有できるようにする。
第二次	情報や考えの整理	<p>②英語を聞いて、応答すべきことを捉え、自分の考えや情報を整理する</p> <p>自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を聞き取り、聞き取った内容についてワークシートにキーワードを書いたり、書いたキーワードや語句を図式化したりしながら、作成したメモに自分の考えを書き込む。</p> <p>ワークシートに書き込んだことを基に、自分の考えを話したり、生徒同士で考えや意見を交換したりする。</p> <p>話す活動が終わった後に、話した内容を書いてまとめ、情報や考えを整理する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〔言語活動の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事における係分担の説明や持ち物等の連絡、天気予報、交通情報などについて、自分が必要とする情報を聞き取る。 ・友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応じる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生徒が自分の力で情報を把握、整理しやすくなるよう、使用するワークシートを工夫する。 ■ 聞き取った情報を基に、生徒が自分の考えや気持ちを述べる機会を継続的に設定する。 ■ 話す活動の後に再度聞く活動を入れたり、話した内容を書いたりするなど、表現しながら情報や考えを整理できるよう工夫する。 ■ 生徒が複数回聞く必要がある場合には、話の要点は何か、自分が何を求められているかなど、異なる視点を提示し、目的に応じた聞き取りができるようにする。
第三次	自分の考えの表現	<p>③整理した情報を基に、自分の考えや情報を表現する</p> <p>第二次までの学習活動を基に、災害が起きたことを想定し、ラジオ放送から聞き取った情報や自分の考えを整理し、ホストファミリーに伝えるチャットを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ チャットにはどのような内容が含まれるとよいかを確認できるようにする。 ■ 第二次のペアでの交流で用いた既習表現を想起させる。

○授業づくりのポイント

この単元では、災害についてのラジオ放送を聞いて自分の行動を決める上で必要となる災害に係る情報や自分の考えを書いて伝える活動を設定した。このような言語活動を通して、英語を聞いて得られた情報を基に、自分の考えを伝える力を身に付けさせるような学習活動の一層の充実が求められる。

(4) 高等学校における指導の在り方

高等学校では、統合的な言語活動の中で、聞いたり読んだりして得られた情報や表現を整理・吟味し、どの情報を取り上げるのか、また、どの表現が話したり書いたりする上で活用できるのかについて考えさせるとともに、自らの情報や考えについて、相手の状況や場面に応じた適切な表現形式などに留意して発信する力を育成する学習活動の一層の充実が求められる。